

# 府中市がめざすまちづくり

～ 市民・企業・行政がともにめざす新しい都市～

## 1. 府中市の将来像設定にあたっての基本的な視点

### (1) 府中市が自立した地域として輝くために必要なまちづくりを考えます。

府中市のこれからの10年間を考える時、広域連携や、福山市との一体化を考慮しながら、府中市が自立した地域となるためのまちづくりが重要になります。地方分権時代に入り、地域間競争が激化していく中で、本計画で「府中市が将来のまちづくりをどうすべきか」を考える時、既に市域を超えて拡大した生活圏域の中で、府中市の役割とポテンシャルを發揮できる基盤づくりを進めていくことが重要になります。

### (2) 府中市をとりまくさまざまな環境変化に対応できるまちづくりを考えます。

急速に進む少子高齢化、日常生活の情報化などによるライフスタイルの多様化、行政の厳しい財政運営、地方分権の進展などこれからの府中市をとりまく社会環境は大きく変化することが予想されます。こうした地域社会の環境変化に対応できるまちづくりを進めていくため、これからの府中市に関わりのある環境変化を考慮し、まちづくりの可能性と方向性を明らかにします。

### (3) 府中市の強みを十分に生かしたまちづくりを考えます。

「ものづくり」産業の集積地、備後国府跡・石州街道・白壁のまちなみをはじめとする貴重な歴史文化、地域を愛する心など、府中市のもつ地域特性や優位性を十分に生かし、発展できる方向を示していきます。

### (4) 府中市民憲章を十分に尊重したまちづくりを考えます。

府中市民憲章に示された理念を府中市のまちづくりを考える基本指針として尊重し、これからのめざすべき方向を示していきます。なお、府中市民憲章には、次のような理念が示されています。

ポテンシャル=可能性。潜在力。

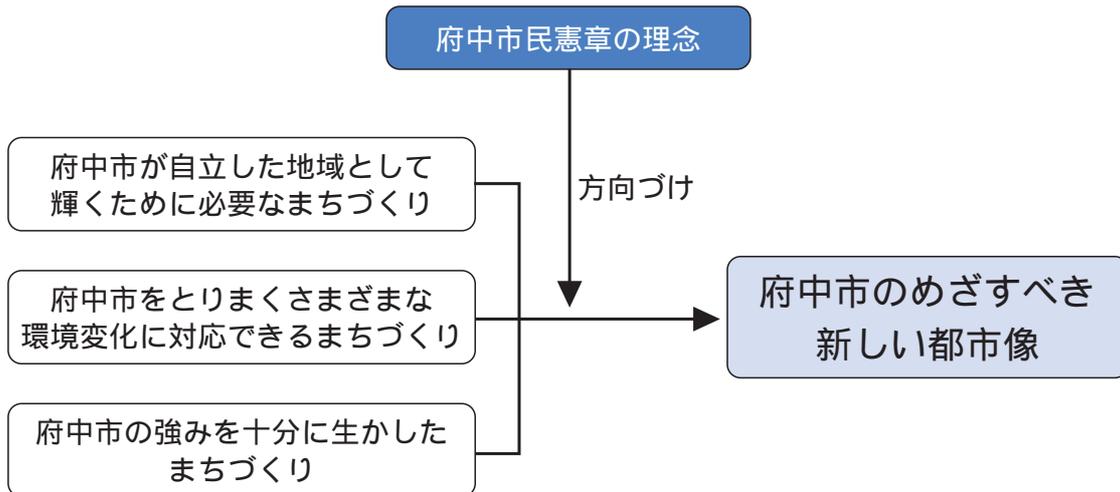


### 府中市民憲章 (昭和49年11月3日制定)

- 一. 自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。  
(ここでは、自然環境に対する配慮があり、美しい景観を持ったまちをめざすことをうたっています。)
- 一. 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。  
(ここでは、健康でいきいきと働くことのできるまちをめざすことをうたっています。)
- 一. たがいに尊びあい、明るいまちをつくりましょう。  
(ここでは、お互いの人権を尊重し、明るい市民社会をめざすことをうたっています。)
- 一. きまりを守り、住みよいまちをつくりましょう。  
(ここでは、秩序や安全が保たれており、快適な暮らしができるまちをめざすことをうたっています。)
- 一. 教養を高め、文化のまちをつくりましょう。  
(ここでは、教養を高め豊かな文化をつくっていくまちをめざすことをうたっています。)

都市像の設定にあたっては、府中市民憲章に示された理念を十分に尊重しています。

< 都市像の設定にあたっての基本的な視点 >





## 2. 府中市のめざす新しい都市の将来像

府中市の新しい都市像

リ・デザイン  
Re▶design ゆめ ひら  
未来を拓くものづくり都市 府中

<新しい都市像の主旨>

「リ・デザイン」= これからの地域社会の変化に対応した活力とうるおいのある府中市を創るため、府中気質の「ものづくり」精神を生かして市民が主体的に活躍できる「働く場としての府中」「暮らしの場としての府中」「人が育ち、交流する場としての府中」に必要な環境を創造していきます。

「未来を拓くものづくり都市 府中」= 府中市のポテンシャルである「ものづくり」産業を中心とした産業集積基盤を十分に生かし、自立できる地域社会が発展し、都市のにぎわいと活力ある市民が生まれ、府中市を誇りに感じることができるまちづくりを進めます。

## 3. 新しい都市像を実現するために~まちづくりの3つの目標~

新しい都市像である「リ・デザイン ~ 未来を拓くものづくり都市 府中」を実現していくためのまちづくりの3つの目標を示します。

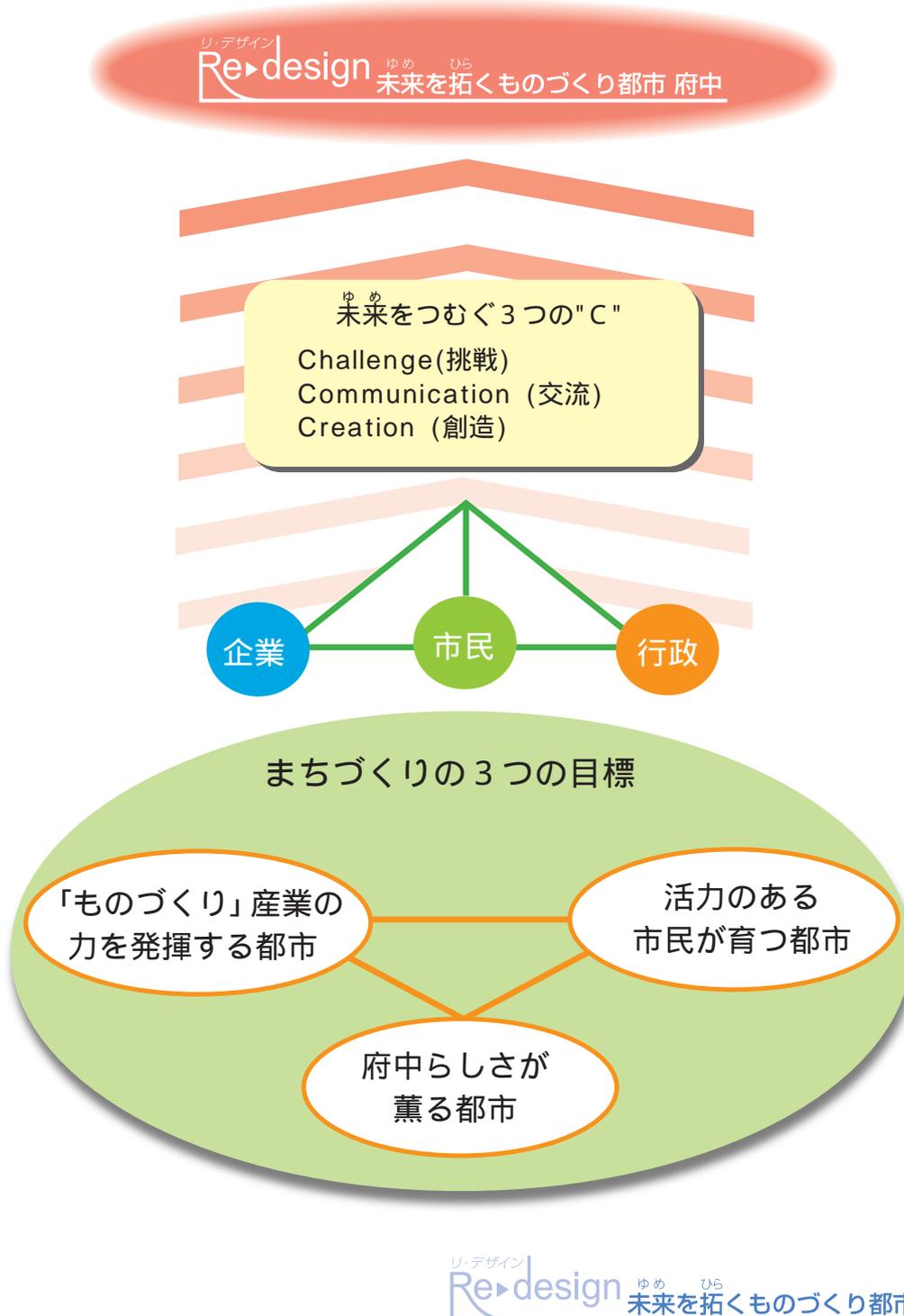
3つのまちづくりの目標をめざし、市民・企業・行政が3つの"C"のまちづくり精神をもちながら、共に府中市の未来を拓いていきます。

まちづくりの3つの目標

- (1) 「ものづくり」産業の力を発揮する都市  
~ しっかり、じっくり人・ものづくり ~
- (2) 活力のある市民が育つ都市 ~ ともに拓く確かな暮らし ~
- (3) 府中らしさが薫る都市 ~ 見つめなおすわがまち ~



<新しい都市の将来像とまちづくりの目標 (コンセプト図) >





### (1) 「ものづくり」産業の力を発揮する都市 ~しっかり、じっくり人・ものづくり~

府中市が将来に向けて持続して発展できる活力をもった地域社会を創造していくためには、現在の都市を支える産業の中心である「ものづくり」産業の優位性を生かし充実させていくことが不可欠です。

「ものづくり」産業の都市という府中市の最も強いポテンシャルを発揮することにより、福祉・文化・教育・産業・生活環境などのさまざまな分野への好循環を与えていきます。

### (2) 活力のある市民が育つ都市 ~ともに拓く確かな暮らし~

府中市の持続的な発展とあわせて、市民一人ひとりにとっての豊かなまちづくりを考えることが必要です。すべての市民が安心して暮らすことができ、府中市に魅力を感じ、夢を育める環境を発想していくことが大切です。

市民一人ひとりがお互いの人権を尊重する社会の実現に向け、市民と行政が連携し、市民自ら地域の担い手として活躍できる都市をつくることが求められます。

活力ある市民が育つため、小中一貫教育をはじめとした次世代を育てる教育改革と多彩な学習機会のある豊かなまなび環境づくりを進めます。

都市基盤・交通・教育・雇用・住宅など幅広い分野で、すべての市民が暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりをめざします。

### (3) 府中らしさが薫る都市 ~見つめなおすわがまち~

「ものづくり」文化や進取の気質をもった起業精神、地域の歴史文化などの府中らしさを改めてみつめ、市民一人ひとりが府中市に住むことの喜びを感じるまちづくりをめざします。

府中市の貴重な歴史資源である備後国府跡・石州街道・白壁のまちなみなどの風格ある府中市の歴史・文化を再現し、市民が誇りをもてるまちづくりをめざします。

府中市のもつ豊かな地域資源を生かし、府中市の魅力を幅広く発信し、多彩な交流の拡大をめざします。



## 4. 土地利用ビジョン

### (1) 都市機能集積ゾーン

J R府中駅・J T跡地周辺を中心として都市機能集積ゾーンとし、都市基盤の整備に努めるほか、府中市中心部の南北アクセスの円滑化を進めます。また、住宅・工場用地・農地などが混在する地区では、土地利用の適正化を検討します。

### (2) 産業拠点ゾーン

既存の工業団地やその周辺地区を産業拠点ゾーンとし、企業誘致や起業化支援活動などに努めます。

### (3) 農業・農村定住ゾーン

上下地区周辺を農業・農村定住ゾーンとし、農業の振興や農村を通じた定住環境の整備を図ります。

### (4) 観光・交流ゾーン

白壁のまちなみなどJ R上下駅周辺地区や矢野温泉・四季の里などの観光資源及び市全域にわたる森林資源の活用を図るとともに、一般国道432号線をはじめとする道路環境の整備によるアクセスの向上に努め、交流の拡大を図ります。

### (5) スポーツ・レクリエーションゾーン

羽高湖周辺地区などをスポーツ・レクリエーションゾーンとし、自然環境を保全しながら、活用を図ります。



<土地利用ビジョン イメージ>

